

温室効果ガス排出量 検証報告書

2026 年 7 月 23 日

不二製油株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
サステナビリティセンター
上級経営管理者 前田 雅彦



1. 検証の対象及び目的

不二製油株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{※1}における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果「2025 年度データ CO₂ 排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の 2025 年度（2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで）の以下の GHG 排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ 1 GHG 排出量

算定対象における天然ガス、都市ガス、LP ガス、軽油、灯油、ガソリンの使用に伴って直接的に排出される CO₂ 排出量

2) スコープ 2 GHG 排出量^{※2}

算定対象における電力、熱の使用に伴って間接的に排出される CO₂ 排出量

検証の目的は、事業者の GHG 排出量情報が算定方法^{※3}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し GHG 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された GHG 排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って GHG 排出量情報の検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- 不二製油株式会社神戸工場への訪問による算定対象、データ収集手順確認、供給されたエネルギーのモニタリングポイントの現場視察
- GHG 排出量情報の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された 2025 年度の GHG 排出量情報※4 は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

NOTE:

※1：算定対象

国内：不二製油株式会社、株式会社阪南タンクターミナル、千葉ベグオイルタンクターミナル株式会社、株式会社フジサニーフーズ、株式会社エフアンドエフ、オーム乳業株式会社
海外：フジオイル（シンガポール）、ウッドランド サニーフーズ、パルマジュ エディブル オイル、フジ グローバル チョコレート（M）、フジオイル（タイランド）、フレイアバディ インドタマ、インダストリアル フード サービスズ、不二（中国）投資有限公司、不二製油（張家港）有限公司、不二製油（張家港保税区）有限公司、不二製油（肇慶）有限公司、天津不二蛋白有限公司、巴洛美巧克力製造（上海）有限公司、フジ ベジタブル オイル、ブラマー チョコレート カンパニー、ハラルド、フジオイル ヨーロッパ、フジ オイル ガーナ、フジ ブランデンブルク、フジオイル アジア、オイルシーズ インターナショナル、フジ ヨーロッパ アフリカ

※2：スコープ2 の排出係数

- ・国内（電気）：電気事業者・メニュー別基礎排出係数を使用
- ・国内（熱）：供給事業者からの提供値を使用
- ・海外（電気）：各国の政府機関が公表している最新の系統平均係数、または電気事業者から提供された固有の排出係数を使用
- ・海外（熱）：一次燃料の構成比に基づき、想定されるボイラー効率及び蒸発倍数を用いて算出した排出係数を使用

※3：算定方法

「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（ver.2.8）」及び事業者が作成した「算定手順書」

※4：上記算定対象の検証された温室効果ガス排出量は別紙を参照

以上

温室効果ガス排出量 検証報告書

2026 年 7 月 28 日

不二製油株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
サステナビリティセンター
上級経営管理者 前田 雅彦



1. 検証の対象及び目的

不二製油株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{※1}における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果「2025 年度データ CO₂ 排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の 2025 年度（2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで）の以下の GHG 排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ 3 GHG 排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ 3 カテゴリ 1^{※2}において排出される CO₂ 排出量

検証の目的は、事業者の GHG 排出量情報が算定方法^{※3}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し GHG 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された GHG 排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って GHG 排出量情報の検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG 排出量情報の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された 2025 年度の GHG 排出量情報※4 は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

NOTE:

※1：算定対象

国内：不二製油株式会社
株式会社エフアンドエフ
オーム乳業株式会社
海外：フジオイル（シンガポール）
ウッドランド サニーフーズ
パルマジュ エディブル オイル
フジ グローバル チョコレート（M）
フジオイル（タイランド）
フレイアバディ インドタマ
インダストリアル フード サービスズ
不二製油（張家港）有限公司
不二製油（肇慶）有限公司
天津不二蛋白有限公司
巴洛美巧克力製造（上海）有限公司
フジ ベジタブル オイル
ブラマー チョコレート カンパニー
ハラルド
フジオイル ヨーロッパ
フジ オイル ガーナ
フジ ブランデンブルク

※2：スコープ3のカテゴリ1の概要

○ カテゴリ1（購入した製品・サービス）：主な製品の原料及び容器包装を対象

※3：算定方法

「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（ver.2.8）」、
「国立研究開発法人産業技術総合研究所 IDEA Ver.3.5.1」及び、事業者が作成した「スコープ3 カテゴリ1 算定手順書」

※4：上記算定対象の検証された温室効果ガス排出量は別紙を参照

以上